

## 総務常任委員会 管内視察報告

総務常任委員長 住田 清美

総務常任委員会では7月3日に管内視察を行いましたので報告します。

### ① 小中学校におけるコロナ対策 (スライドにて説明)

登校時の健康チェックやデイスタンスを守った授業風景、部活動の様子など、徹底された学校での取り組みについて説明を受けた。また、電子黒板などICT化の進捗についても認識した。

ただし、下校後に教職員が消毒やトイレ掃除など行っていることに負担になっていないか心配の声があった。

### ② 消防防災ヘリポート (古川町 宮川河畔)

常設ヘリポートとしては市内3カ所目。県の補助を受けアスファルト舗装に整備した。また、災害時に活躍するドローンの操作も見学した。

### ③ 新和光園 (古川町)

養護老人ホームとしてRC造4階建てとして整備。定員50名。自立した方と介護が必要な方が階によって区分されているが、職員の負担増が心配される。また、旧和光園の利活用についても注視すべきであるとの意見があった。

### ④ 複合児童福祉施設 (神岡町)

障がいのある子どもたちを対象にした、放課後等デイサービスな

かよしキッズ(1階)と、児童発達支援事業所神岡町ことばの教室(2階)が新築整備された。

専用の施設ができ、利用者にも好評であるとのことであった。

### ⑤ 研修医住宅 (神岡町)

プロポーサル方式により、民間が建設し、市は家賃相当額を支払うという契約とした。家具家電付きの部屋は評判がよく、交流ルームもあり、研修医の住環境整備ができた。

### ⑥ 池ヶ原湿原 (宮川町)

駐車場から木道までスムーズに移動できる整備を行った結果、車椅子やベビーカーの利用が可能となり、昨年は約五千人の来訪者があった。しかし、ヨシの繁殖や、熊・猪・鹿の被害、外来種の持ち込みなど課題もある。

入場者増と生態系の維持のバランスが難しいと感じた。

本委員会では、所管事業調査や管内視察の結果、今年度の重点課題として、

- 小中学校におけるコロナ対策
- 教育現場におけるICT化の進捗と将来展望について
- 振興事務所の役割と課題について

を、重点的に取組んでいこうと思っております。

※産業常任委員会は、7月31日に管内視察(語る会)を実施しました。なお、内容は次回お知らせします。

## 編集後記

新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言が解除されましたが、再流行の危険性も憂慮されており、飲食業、宿泊業をはじめ商工業の売上減少、教育の遅れ、給料減少による生活難などあらゆる分野で厳しい状況が続いています。

ワクチンや特効薬が開発され使用できるまでにはしばらく時間がかかるため、私達はコロナと上手に付き合っていかなければなりません。祭りをはじめ、ほとんどの行事やイベントが中止となり、市民の方々の感じてみえる不安やストレスは計り知れません。そんな中、皆さんに元気を打ち出したいと花火を打ち上げて下さった団体様もあり心より感謝致します。

私たち議会としても市民の生活状況をできる限り確認しながら、市の政策や今後の対策などしっかりと考え、市民の皆様の声を市政に届けられようコロナに負けない新しい生活様式を取り入れながらも少しずつ以前の生活に戻るよう考えていきます。

(井端 浩二)



消防防災ヘリポート



複合児童福祉施設 神岡ことばの教室



飛騨市民病院 研修医住宅



池ヶ原湿原 (ニコイ高原)